令和5年度 事 業 実 績 報 告 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 江東国際交流協会(IAK)

活動概要:令和4年終盤にまで続いたコロナ禍 (COVID) に伴う行動制限措置の影響は年末期にかけて漸く緩和の兆しを見せ、一部活動には多少の制約が残ったとはいえ、活動展開は急速にその自由度が高まった。この動きはその後も逆転する事はなく年度後半にはほぼ平常に回帰した。区教育委員会との協働(委託)による日本語支援の必要な江東区立学校に通う外国人や日本人小中学生に対する言語支援活動については4年度末まで継続してきたオンラインベースでの授業は同委員会の指導により、これを停止して全面的に教室での対面授業に回帰した。これに伴い5年4月から大島に加えて東陽町にも教室を増設した。3年度から開始した高校生やそれ以上の大人の外国人に対するオンラインによる日本語支援活動、同じく外国人への生活相談、支援活動、『やさしい日本語』の啓蒙普及活動は在住外国人の予想を超える増加により活況で、特に日本語支援活動については子供への支援活動に加えて常に20名を超える順番待ちを余儀なくさせるほどに発展した。また、4年度に開始した外国人に気軽に日本語を話す機会を提供する「にほんごcafe」事業はこれを更に発展させて外国人も気軽に参加できるスポーツイベントや防災訓練を通常活動に織り込んで実施した。6月定期総会実施。10月の江東区区民祭りや3月の江東区国際交流のつどい等、区主催のイベントにも積極的に出展参加した。各団体等からの通訳、翻訳依頼に対応、原則毎月1回の役員参加の定例連絡会開催(オンラインにて実施)、新規入会希望者に対するオリエンテーションの開催、在日、訪日外国人に対する生活サポート、IFC定例会、行事への参加協力等、多彩な活動を展開した。

				従事者	受益対象者の	事業費
事業名	事業内容	実施日時	実施場所	の予定人	範囲及び予定	予定額
	(特定非営利活動)			数	人数	(千円)
在日外国人に対する日本語教	日本語開始した支援を必	通年	オンライン形	約50名	江東区立在校	1942
育や文化紹介イベント開催等	要とする区立小・中校へ		式から教室で		の外国人の小	
の交流事業 (区との協働事業)	通う生徒への日本語、文		の対面方式に		中学生約40	
	化理解支援。対面の入門		移行。大島、東		名	
	者クラス、東陽町教室も	:	陽町両教室。			
	開校。					

在日外国人に就職支援や職業	在日外国人困り事支援。	通年	原則オンライ	5名	在日外国人1	35
 教育・生活相談対応などの生活	 生活相談、支援。		ンベースでの		0名程度	
 支援事業			実施。			
在日外国人が地域の伝統産業	武蔵野大学夏期短期留学	7月、R6,2月。	各国を結んだ	20名	留学生約40	
を継承するのを支援する産業	生との日本語による討論	各国学生との	オンライン討		名	0
振興事業	会を実施。テーマはオン	オンラインに	論会。日本語			
	ラインホームビジットに	よる現地との	レベルにより			
	よる日本文化紹介。	直接討論会を	生徒を分けて			
		開催した。	実施した。			
在日外国人に日本人家庭を紹	会員家族の家に留学生を	当面は受け入	江東区内	約10名	区内各大学へ	0
介するホームステイ事業	数週間単位でホームビジ	れ態勢整備等			の留学生30	
	ットさせ、日本の生活に	準備を進める			名程度	
	根差した文化を体験、理	必要があり今				
	解してもらう。(武蔵野大	年度は実施せ				
	学留学生とのおしゃべり	ず。				
	交流会開催)					
日本及び外国の生活文化の紹	江東区区民祭り、国際交	10月、令和6	都立木場公園	延約40	当ブース来訪	20
介と地域情報を発信するため、	流のつどいにて江東区国	年3月に当協会	並びに総合区	名	者約200	
ホームページや情報誌で広報	際友好連絡会のエリアで	ブース出展。	民センター		名。3月の新	
する文化広報事業	地域住民と外国人のより		(西大島)		企画ブースに	
	深い交流促進を図る。3				は150名	
	月のイベントは「やさし					
	い日本語」がテーマ。					

地域住民、在日外国人に対して	原則在住の外国人で日本	通年	オンライン実	約20名	ナル汀声の 左	05
		WI 11		アリムリ名	主に江東区在	25
日本語支援、通訳、翻訳等のサ	語支援を求める 高校生以		施。現在需要		住の外国人約	
ービス提供事業	上の人々にオンラインで		が高く江東区		25~30名	
	日本語を教授する。		在住者に限定			
在日外国人に対する我が国の	在日・訪日する外国人に	随時。	にほんごcafé	約20名	約50名程を	0
観光案内事業	対し、地域の観光情報、生		や区のイベン		予想している	
	活情報提供を行う。		ト等機会を捉			
			えて実施。大			
			島、西大島、木			
		•	場公園等			
地域住民に対する外国語教育	多様な言語を擁する外国	主に日本語カフ	外国人と接す	約7名	国際交流のつ	5 0
の提供、外国文化紹介事業	人とのより良い交流の為	ェで外国人との	る機会の多い		どいでやさし	
	『やさしい日本語』の啓	会話に用いる。	日本人を対		い日本語の新	
	蒙普及活動の実施。まず	3月の国際交流	象。		企画に150	
	は地域住民を対象。	のつどいで新企			名程度が来	
		画として実施。			訪。	
男女共同参画社会形成促進の	ジェンダーバランス、役	実施せず	江東区内			
ための啓蒙事業	割についての講演会実施					
在日外国人に対する災害防止、	日本語支援事業に参加し	12月に、「に	本所防災館	50名	日本語支援事	20
避難教育の提供事業	ている外国人の子どもや	ほんごcafe」事			業に参加して	
	保護者への災害防止、非	業の一環とし			いる外国人の	
	常時対応についての消火	て体験型訓練			子どもと保護	
	訓練、啓蒙活動の実施	を実施した。			者約60名	,

地域住民と在日外国人の交流	在住外国人と当協会員が	毎月1回の定	大島中央地区	約20名	江東区又は近	200 (社
促進事業	気軽にやさしい日本語で	例開催	集会所		隣区の在住外	協の助
	の会話の場、盆踊りやス				国人など延べ	成金含
	ポーツをする等の機会				約200名	む)
	(にほんごcafe)を提供					
その他この法人の目的を達成	外国人と日本人がより深	通年	大島の「みん	約20名	江東区在住の	0
するために必要な事業	く交流できるイベントの		なで多文化交		有志(外国人、	
	機会を増やした。以て外		流イン江東」		日本人不問)	
	国人との交流はもとより		と協力して大			
	協会内部の紐帯をもより		島6丁目団地			
	深めることができた。		集会所			

^{2.} その他の事業(特定非営利活動以外)については本年度の計画はありません。

2023年度 活動計算書(その他事業がない場合)

特定非営利活動法人 江東国際交流協会 (単位:円) 小計·合計 目 額 (A) 経常収益 1受取会費 138,050 138,050 受取会費 2 受取割割金 Ō 0 受取寄付金 3 受取助成金等 150,000 150.000 受取補助金 3 事業収益 2,662,568 事業収益 LSC 1,942,168 620,400 事業収益 日本語支援 事業収益 MJSP 100,000 経常収益計 (B) 経常費用 1 事業費 (1)人件費 2,950,618 2,500,120 (2)その他経費 謝礼費 LSC 質借料 LSC 1,677,500 126,000 34,498 34,960 62,059 消耗品費 LSC 保険料 LSC 通信費 LSC 支払手数料 LSC 7,151 謝礼費 日本語支援 324,000 801 消耗品費 MJSP 雑費 MJSP 経費 にほんこCafé 460 232,691 2.500.120 事業費計 2 管理費 (1)人件費 245,293 (2)その他経費 500 旅費交通費 42,074 消耗品費・コピー費 26,996 通信費 6,920 会議費 400 公租公課 168,403 支払手数料 管理制計 経常費用計 当期経常増減額(A)-(B)・・・① [C]経常外収益 受取利息 245.293 .745.413 205.205 30 35,000 35.030 常外収益計 度用計 常外增減額【C】-【D】・・・② 当期正味財産增減額(D+②・・・③) 法人税、住民税及び事業税・・・④ .507,244 .**747,47**9 前期機械正味財産額・・・⑤

2023年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 江東国際交流協会

	付处非各村泊到本人。	(単位:円)
***************************************	自 金額	小計·合計
[A] 東京の部 1 連続資産		
現金預金	2,877,791	
前払金	30,540	
		2,908,331
海 最高度全計 ①		2.908.331
流域 (
(1)有形固定資産		-
(2)無形固定資産		
(3)投資その他の資産		
	1	
固定資産合計 ・・・②		0
(A)資 産 合 計 ①+②		2,908,331
(B-1) 負債の部		
[B-1] 負債の部 1 流動負債		
	1	
未払金 未払金 学習支援謝礼等	1,160,852	
子曰义(汉 两)110号	1,100,032	1,160,852
流動負債合計・・・③		1.160.852
2 固定負債		7710000
固定負債合計 …④		Q
負 信 合 計 ③+④		1.160.852
(B-2) 正味財産の部		1,507,244
前期繰越正味財産額 当期正味財産増減額		240,235
正味財産合計		1.747.479
		2,908,331
【B】負債及び正味財産合計 【B−1】+【B−2】		2,300,331

2023年度 財産目録

特定非営利活動法人 江東国際交流協会

			(単位:円)
	金額	小計	<u> </u>
A)資産の部			
1 海明隆			
現金預金			
手元現金	20,171		
住信SBIネット銀行普通預金	778		
ゆうちょ銀行普通預金	2,856,842	2,877,791	
前払金	30,540	30,540	
1 1			
治動資産合計・・・①			2,908,331
流動資産合計 ···① 2 固定資産 (1)有形固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
(3))及員でいるの具座			
			0
固定資産合計・・・②			2,908,331
(A)資産合計①+②			2,908,331
B-1 負 信 の 部 1 流 防負債			
1			
未払金			
学習支援謝礼等	1,160,852	1,160,852	
	ı		
未払法人税等	0	0	
流動負債合計 ・・・③			1.160.852
2 固定負債			
]	
固定負債合計 ・・・④		<u> </u>	C
【B-1】負 債 合 計 ③+④			1,160,852
			1 7 4 7 4 7 0
【B−2】正 味 財 産 合 計 【A】-【B−1】		ļ	1,747,479

事 業 報 告 用

令和5年度役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並 びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人 江東国際交流協会

- 1 確認事項(法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)
 - ☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)
 - ☑各役員について、親族の規定に違反していません。 (法第21条関係)

2 役員一覧

	役 名	(フリガナ) 氏 名		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けて、該当者のよ	
	和本	カタヤマヨシハル		令和5年4月1日	年	月日
1	理事	片山義晴		~ 令和6年3月31日	~ 年	月 日
2	理事	スズキカナコ			年	月 日
Ĺ	性事	鈴木加奈子		间止	年	月 日
3	理事	タツノヒロミチ			年	月 日
	(理事長)	龍野裕通		同上	年 ————————————————————————————————————	月 日
4	理事	ミヤタショウコ		同上	年~	月 日
	- T	宮田聖子)+1	年	月 日
5	理事	ヤマザキマサカズ		同上	年~	月 日
		山崎正和		h-1 T-	年	月 日
6	監事	タテベサトシ		同上	年~	月、日
		立部智士		P4 -1.,	年	月 日
7	理事・監事			年 月 口~	年 ~	月 ほ
				年 月 日	年	月 日
8	理事・監事			年 月 日	年 ~	月 日
				年 月 日	年	月 日
9	理事・監事			年 月 日 ~	年 ~	月 日
				年 月 日	年	月 日
10	理事・監事			年 月 日	年 ~	月 日
			·	年 月 日	年	月 日

社員名簿 (社員のうち10人以上の者の名簿)

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人 江東国際交流協会

	氏	名			
1	片山義晴	,,,,			
2	鈴木加奈子				
3	龍野裕通				
4	立部智士				
5	田中康夫				
6	玉井秀子				
7	張 文涵				
8	永島美和子				
9	中村景子				
10	中村有希子	<u> </u>			
11	ディヴィッド・ハ' タイン	フェンス			

13	12	宮田聖子		
	13	山崎正和		
	_			
	:			